お金を「つかう」を学ぶ

≪目標≫

・身近な消費生活を振り返り、無駄のないお金の使い方を理解する。

・上手にお金を使うために、買う前に本当に必要かどうかをよく考えることができる。

≪展開≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **時間** | **学習活動** | **資料** |
| 5  10  5  5  5  10 | 1. **本時のめあてを確認する。**   学習課題：  上手にお金をつかうためには、どうしたらいいだろう？   1. **お金を使ったことを思い出して、できるだけ付箋に書く。**   （問）「無駄遣い」とは何でしょう？  （説）無駄遣いを考えるキーワードは「必要」「ほしい」です。   1. **付箋を「生活に必要か」で分類する。** 2. **付箋を「ほしい気持ちの強さ」で並び替える。**   （説）「必要なくて」「あまりほしくない」のが無駄遣いになります。   1. **上手なお金の使い方のポイントをまとめる。**   むだづかいをしないために、「生活のために必要か」「本当にほしいのか」を考える   1. **自分の標語（合言葉）をつくる。** | スライドＰ2～  ワークシート  スライドＰ6  スライドＰ8～  スライドＰ12  スライドＰ14  ワークシート |